

令和8年度

名古屋大学大学院情報学研究科
心理・認知科学専攻
入学試験問題（専門）

令和7年8月6日

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 試験終了まで退出できない。
3. 辞書の持ち込みは認めない。
4. 日本語または英語で解答すること。
5. 問題冊子、解答用紙1枚、草稿用紙1枚が配布されていることを確認すること。
6. 問題は設問A～Gの7問がある。このうち1問を選択して解答すること。なお、選択した設問記号を解答用紙の指定欄に記入すること。
7. 解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。解答用紙に受験者の氏名を記入してはならない。
8. 解答用紙に書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。ただし、裏面を使用した場合は、その旨、解答用紙表面右下に明記すること。
9. 解答用紙は試験終了後に提出すること。
10. 問題冊子、草稿用紙は試験終了後に持ち帰ること。

設問 A

次の問題 1.2. に解答せよ。

1. 次の文章の空欄（ア）～（コ）に入る適切な語句を、次の A から P のなかから選んで解答せよ。解答は問題文中の空欄の記号とそれに対応する解答のアルファベットを対にして記述すること。

【解答候補】

A. 誤警報； B. 信号検出； C. 正棄却率； D. 認識； E. 正棄却； F. 誤警報率；
G. 信号； H. ヒット率； I. 検出； J. 感度 (d')； K. バイアス (β)； L. ミス率；
M. ウェーバー比； N. ミス； O. ノイズ (雑音)； P. ヒット；

【問題文】

感覚 (sensation) は、(ア) の中に埋め込まれた (イ) を (ウ) する過程 (process) とみなすことができる。場合によっては、(ア) しか存在しないときにさえ、(イ) が誤って (ウ) されることがある。これを (エ) という。実際に存在する (イ) を正しく (ウ) することが (オ) である。全体に対する (エ) の割合を (カ)、(オ) の割合を (キ) という。

ある人物 (甲) は (イ) がたしかに存在したと主張するためかなりの確信を必要とする。すなわち甲の (カ) も (キ) も低い。しかし別の人物 (乙) は、確信が低くても (イ) を (ウ) したと主張する。そのため、(キ) は高いが同時に (カ) も高くなる。

ここで、(ク) 分析によれば甲と乙は (ケ) に違いはないが、(コ) 値はまったく異なるといえる。

2. 社会的に重要な信号である顔 (face) の認識 (recognition) には、ほかの対象物 (object) にはない特別な認識過程があると考えられる理由を、二つの証拠を示し、その理由を 300-400 文字程度で説明せよ。

設問 B

次の問題 1.2.3. に解答せよ。

1. 次の文章の空欄 [ア] ~ [コ] に入る適切な語句を、解答候補のなかから選んで解答せよ。

【問題文】

ピアジェは、子どもを、何が生じるのかを見るために外界の物事や事象で実験をする「有能な科学者」とみなした（「この皿をテーブルの端まで押していったらどうなるだろうか」など）。これらの「実験」の結果によって、子どもは [ア] を構築する。ピアジェは子どもの [イ] を4つの段階に分けて理論化した。まず、生後0~2歳頃は「 [ウ] 段階」とされ、この時期、子どもは自らの活動と活動の結果との関係を見出すことに忙しい。続く2~7歳頃の「 [エ] 段階」では、依然として他者の視点を理解することが困難である。また、 [オ] などの概念の理解も未熟である。7~11歳頃の「 [カ] 段階」では、対象物や出来事を [キ] 的に思考することが可能となり、数や量、重さなどの [オ] 概念が理解されるようになる。そして11歳以降の「 [ク] 段階」に入ると、抽象的・ [ケ] 的な思考が可能となり、「もし~ならば」という枠組みを使って問題解決に取り組むことができるようになる。ピアジェの理論は、子どもの能力を [コ] しているものとして批判されてきた。

【解答候補】

A. 道徳発達	B. 前操作	C. スキーマ	D. 感覚運動	E. 論理
F. 具体的操作	G. 過大評価	H. 保存	I. 認知発達	J. 形式的操作
K. モデリング	L. 過小評価	M. 誤信念	N. 仮説	O. 帰納

[ア] _____

[イ] _____

[ウ] _____

[エ] _____

[オ] _____

[カ] _____

[キ] _____

[ク] _____

[ケ] _____

[コ] _____

2. 学習および条件づけに関する問題です。以下の 4 つの用語——正の強化 (positive reinforcement)、負の強化 (negative reinforcement)、正の罰 (positive punishment)、負の罰 (negative punishment) ——について、それぞれの意味を説明し、具体例を挙げなさい。(400 字程度)

3. メアリー・エインズワース (Mary Ainsworth) が考案した、幼児の愛着 (attachment) の評価方法およびタイプについて説明しなさい。タイプについては、安定愛着型 (secure attachment)、不安定愛着型の回避型 (insecure-avoidant)、不安定愛着型の両価型 (insecure-ambivalent)、および無秩序型 (disorganized attachment) の 4 つに分けて、それぞれ説明しなさい。(400 字程度)

設問 C

以下の (1)~(3) に日本語で回答してください。

- (1) 現在では、テクノロジーの進化により、Google Ngram Viewer に代表されるコーパスデータを用いて過去数百年における任意の文字列の出現頻度を調べるのが可能です。
 - a. この方法は、社会・文化心理学におけるどのような研究テーマに有用だと思いますか？例を挙げて説明してください。
 - b. この研究方法の問題点を1つ挙げて、説明してください。

- (2) 以下の a~c それぞれに対して、関連する研究内容について触れながら、その概念を説明してください。
 - a. 最小条件集団 (minimal group)
 - b. フォールス・コンセンサス [合意性バイアス] (false consensus)
 - c. 集団思考 [集団的浅慮] (groupthink)

- (3) 以下の英文は、Choi らによる論文 (Choi, H., Oishi, S., Shin, J., & Suh, E. M. [2019]. Do happy events love company? Cultural variations in sharing positive events with others. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 45(4), 528-540.) から引用したものです。これを読み、以下の問いに答えてください。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に本ウェブページの公衆送信について著作権者より承諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

- a. capitalization attempts とは何かについて簡潔に述べてください。
- b. この研究で明らかになった capitalization attempts に関する文化差とその理由について 100～200 字程度で説明してください。
- c. 下線部で示した内容に関し、そのようなことをする意義を推測し、簡潔に説明してください。

設問 D

認知心理学の研究において、方法論上、「理論・モデル」および「データ」という概念は、非常に重要である。これら2つの概念について、その意味と役割、および、両者の関係について論じなさい。さらに、これまでの研究の中で提出された理論・モデルをひとつ取り上げ、それについての具体的な説明を行いなさい。

設問 E

以下の (1)~(3) の問いに答えてください。

(1) 次の (a)~(d) について簡潔に説明してください。

- (a) きょうどうちゅうい 共同注意 (joint attention)
- (b) こころ りろん 心の理論 (theory of mind)
- (c) じごちゅうしんせい 自己中心性 (egocentrism)
- (d) どうか 同化 (assimilation)

(2) ピアジェが提唱した「物体の永続性 (object permanence)」の概念について、「A-not-B 課題」を取り上げ、以下の点を含めながら 300 字程度で説明してください。

- A-not-B 課題の具体的手順
- この課題で乳児が示す典型的な行動とその解釈
- 想定されるメカニズム

(3) ちかく きょうしょうか 知覚の狭小化 (perceptual narrowing) について、研究事例を含めながら 300 字程度で説明してください。

設問 F

以下の (1), (2) の問いに答えてください。

(1) 次の (a)~(d) について簡潔に説明してください。

- (a) 社会脳仮説 (social brain hypothesis)
- (b) 集団極化現象 (group polarization)
- (c) 応報戦略 (tit-for-tat strategy)
- (d) プロセスの損失 (process loss)

(2) Golder & Macy (2011) は、人々の気分が日内・週内・季節で変動することを、世界 84 カ国 2400 万人による 2 年間・5 億件超の Tweet データから示しました。近年の心理学では、このようにソーシャルメディアでの投稿やオンライン上での行動履歴といった、大規模なデジタルトレースデータを活用する研究が増えています。こうした研究アプローチの方法論的特徴について、心理学における実験室実験と比較しながら、①メリットと②デメリットをそれぞれ 300 字程度で説明してください。

設問 G

以下の (1)~(3) のすべてに答えなさい。

- (1) 次の文章の空欄 (ア) ~ (コ) に入る適切な語句を答えなさい。

外界の光は、角膜・瞳孔・水晶体・硝子体を経て、網膜に達する。ヒトの網膜には (ア) と (イ) の2種類の視細胞があり、それぞれ明所視と暗所視に関わる。光によって視細胞が刺激されると膜電位の変化が引き起こされ、生じた電気信号は双極細胞・網膜神経節細胞を経て、視床の (ウ) へ伝えられる。(ウ) のニューロンからの軸索は視放線となり、大脳皮質の (エ) に至る。(エ) 以降の高次視覚野における視覚情報処理は、(オ) と (カ) の2つの経路に分けられる。後頭頂葉に向かう (オ) は、(キ) に関する情報の処理を担う。下側頭葉へと至る (カ) は、(ク) に関する情報の処理を担う。(カ) には特定のカテゴリーの視覚刺激によって賦活する領域がいくつかあり、例えば、(ケ) を損傷すると、特定の顔を認識することができない (コ) という症状が生じる。

- (2) 視覚野の一部に損傷を受けた患者には、知覚経験としては「見えていない」にも関わらず、視野内の物体の位置を当てることが出来たり、その物体に対して適切な行動を起こすことが出来る者がいる。
- (a) この現象は一般的になんと呼称されているか答えなさい。
- (b) この現象に関わる脳内の処理経路について、150~200文字程度で説明しなさい。
- (3) 健常者においても、意識的には経験されていないにも関わらず、無意識的に処理された視覚情報とその後の判断や行動に影響を及ぼすことがある。このような無意識的な認知過程を示すのに用いられる実験心理学の手法をひとつ挙げ、その手続きについて説明しなさい。その際、具体的な研究の例を挙げても良い。